SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：TAKASUGI株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・朝礼で経営理念・企業の方針を唱和し、社員全員で共有している。 ・毎月、各部署ごとにその月ごとの経営目標に基づいた発表を行い、達成したか評価している。 ・また、毎年1回、全社員が集まり、全体での経営目標を決めて評価している（決起大会）								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則にて定められており、サイボウズにて社内に周知している。 ・反社会的勢力との取引は行わない																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・清廉潔白な商取引を行っている ・発注者（積算）・決済者など不正が発生しないよう担当ごとに役割を決めている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・商品開発部を設けてZEH・省エネ・レジリエンス住宅の開発など社会問題解決に取り組んでいる。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内システムで企画物件・施工物件などに関するデータを保護している								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・システム管理者の任命、社内システムの構築済 ・個人情報が係る情報については、担当者だけが見られるよう、社内共有フォルダでもパスワードをかけている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・会議・立ち合い検査以外にも、着工式や引渡式などのイベント・引き渡し後も定期点検を行い、顧客とのコミュニケーションを図っている																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・施工に使用する木材や設備は、環境問題に積極的な取引先の商品を使用し、フロンガスを使わずCO2の削減に共に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	BCPを策定済									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・平等な雇用条件について社内規則で定めている ・インドネシアからきた方を大工として採用し、海外人材育成に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・KY活動、定期的に安全パトロールをに実施している ・サイボウズにて事故事例の全社員への周知を徹底している ・毎年、安全大会を開いて意識の徹底を図っている ・安全衛生委員会を設け、職場環境向上に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・性差関係なく働ける職制・賃金体系を確立している ・毎週、社員勉強会を開催し、全社員の幅広い知識・共有の形成を図っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・毎月、全社員の残業時間を管理して、超過した者に対しては日々の業務内容の確認、改善を図るようにしている ・産休・育休・時短勤務の取得や相談を行い、社員の様々な生活環境に臨機応変に対応している			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・特定の資格を取得した場合は合格祝い金を支給している ・社内勉強会・役職ごと（部長のみ・係長～次長）の研修を行っている ・新卒採用を継続しており、採用人数も年々増加（2021年→昨年比1.5倍） ・女性スタッフのみでのミーティングや若手社員だけのミーティングを行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年、全社員の健康診断・ストレスチェックを実施している ・サークル活動（ゴルフ）を行っている ・社内に健康器具（マッサージ・運動器具）を設けている。 ・1日二回、10分間のストレッチを行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・性差のない採用選考を行っている（女性の積極採用） ・性差なく現場管理を任命している ・海外の人材を採用し、人材育成に取り組んでいる（インドネシア研修生） ・女性スタッフのみでのミーティングや若手社員だけのミーティングを行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：TAKASUGI株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・各営業所の会議はWEBで行っている ・席は2m以上離れて座り、打合せブースはパーテーションを設けている ・全社員、毎朝の検温、手指消毒を徹底している ・部署ごとにテレワークを実施している			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・MAツールにる顧客情報の管理、独自の社内システム開発による施工情報の管理を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・FFC加工による善玉菌・マイナスイオンの増大、有害物質削減に取り組んでいる。 ・塗装作業など行う際は養生シートを敷いて、有害物質は地盤に浸透しないよう取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・業務で使用する車両（社有車・マイカー借り上げ）の燃料の使用量を毎月記録、計測している。 ・【予定】2022年2月までに社内・展示場・モデルハウスなどで使用している電気量を、各使用部署が把握し、節電に取り組む。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年2月までに自社のCO2排出量を把握し、各使用部署で節電に取り組むとともに、車通勤からテレワーク、自宅作業に移行することで通勤によるCO2排出削減の取組みも開始する※年間の削減目標215㎏		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・毎月、近隣の清掃活動を行っている。 ・建設場廃棄物の処理時は、マニフェストで管理している						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・1m以上の木材は必ず使用し、可能な限りごみを減らすよう取り組んでいる。 ・裏紙などを有効活用し、用紙使用の削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水している ・朝礼、もしくは定期的に節水の声掛けを行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生用紙・裏紙の利用を推進している。 ・新築・改築工事物件のエネルギー効率化を行っている ・レジリエンス・省エネなど環境に配慮した企画商品の開発・販売を行っている									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・会社の食事会、着工式などで食事をする際は、事前に参加する人数、食べ残しがないように事前に食べる量などを把握して注文するようにしている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・毎月、近隣の美化活動を行っている ・定期的に分譲地周辺の清掃活動を行っている。 ・外構部分に植栽を設けるようお客様へ積極的に提案したり、モデルハウスには必ず植栽を植えるなど緑化を積極的に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光パネル、蓄電池搭載の企画商品開発を行っている ・定期的な会議を行い、資材発注の制度を上げ、廃棄量の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・会社での飲料は紙コップをできるだけ利用して、プラスチックの使用削減に務めている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：TAKASUGI株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・レジリエンス住宅の企画販売を行っている ・スーパージオ工法サービスによる地震対策（減震・免振・液状化） ・検査部を設けて、お家が完成するまで11種の検査を行っている ・引渡後20年間の長期定期点検（全18項目）・10年間の住宅設備保証 ・全ての工事において顧客の安心・安全を提供している			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・グループホーム営業部を設けて、サービス提供を行っている。 ・事務所内にスロープや手すりを設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	なるべく県産木材を指定して購入・使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	ショールームは、自社の木材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・レジリエンス住宅の開発による電気使用量の削減 ・FFC加工による免疫力向上（喘息・アトピーなどの病気改善） ・スーパージオ工法による地震被害の削減（減震・免振）、耐震等級3認定商品の販売 ・緑の柱によるシロアリ被害の削減 ・パワーボードにおける火事（延焼防止）・騒音被害の減少 ・地震や火災の影響を最小限にさせる構造体（省令準耐火構造）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の清掃ボランティアに参加している ・2020年の熊本豪被害時に仮設住宅の支援・復興ボランティアに参加	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・毎年、BCPの一環として、安否確認訓練を行っている ・レジリエンス住宅の企画販売（2021年ジャパンレジリエンスアワード最優秀賞） ・台風接近時、弊社が管理している分譲地の備品（コンテナ・仮設トイレ）などの補強を行っている。 ・台風接近時、すぐに対応できるよう建築スタッフが前日、会社に待機している。 ・災害時、迅速に対応できるよう会社にブルーシート・土嚢袋を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	レジリエンス住宅の企画販売を行っている（2021年ジャパンレジリエンスアワード最優秀賞）	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・地震に強い建物、分譲地（耐震等級3・スーパージオ工法）や火事に強い建物（省令準耐火構造・パワーボード標準仕様）を販売している									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・お子様の教育支援（お金について勉強）を実施している ・学童野球・スケッチ大会などお子様の成長を支援している ・【予定】2022年1月に従業員向けのSDGs研修会を実施する	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	高校生や大学生のインターンシップを受け入れている				4				8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元学生を積極的に採用している				4.4				8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。